

「学校評価のアンケート」の集計結果と考察について

新宿区立津久戸小学校

校長 八田 瑞穂

学習の項目に関して

・「あてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせると90%以上になる項目は、

1～5, 7であり、授業の進め方、取り組み等については、昨年とほぼ同等な評価をいただきました。特に、2の「体験活動」3の「調べ・考え・表現する」、7の「地域の伝統・文化」に関しては、95%以上の肯定的評価がありました。また、「あてはまる」という評価だけを見ると、昨年度より数値が上がっています。総合的な学習を中心に体験活動や地域の伝統や文化を取り入れた活動、地域の人材を活かした学習への取り組みが理解されたことと思われます。

・「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせると10%以上になる項目は、

6の「適切な助言や励まし」については、十分とは感じられない保護者の割合が他の学習の項目と比べて多くありました。引き続き個々に応じた適切な助言や励まし、目配りや気遣いが授業や生活において教職員に求められていることが分かります。全教職員でより一層意識していくことが必要です。これらの声を受け止め、授業改善への努力をしてまいります。

生活の項目に関して

・「あてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせると90%以上になる項目は、

9～11であり、昨年度と同等の評価をいただいております。10の「異学年交流」については、「あてはまる」と「だいたいあてはまる」が96%を超え、これまでも多くの方に認められていましたが、今後も継続が期待されています。

・「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせると10%以上になる項目は、

8, 12でした。

8の「一人一人の子どもの様子や子どもの声を聞くことに努める」は、学習の項目6の「適切な助言や励まし」とも関連しています。今後も一人一人の子どもの適切な対応ができるように努力してまいります。

12の「あいさつや返事、丁寧な言葉遣いができる習慣」についても、継続して指導に力を入れてまいります。生活指導全般にわたって、人権意識を高め、自発的に前向きに取り組む児童の育成を目指して、さらなる努力が必要と考えます。

その他の項目について

・「あてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせると90%以上になる項目は、

全ての項目において昨年度とほぼ同等な評価をいただきました。特に15「校舎をきれいにし、安全で気持ちのよい教育環境」は、昨年度同様、95%を超える高い評価をいただいております。季節ごとの掲示等にも気を配り、環境整備に努力してまいりました。この環境整備は、職員だけではなく、年間を通して携わってくださっている地域のボランティアの方々等の協力や支援も大きいものです。これからも、計画的に様々な工夫をし、安全で気持ちのよい教育環境整備に一層努めてまいります。

新宿区共通項目について

- ・17の「いじめ等への相談」については、肯定的な評価が増え、「あてはまる」という意見が10%以上も増えました。ふれあい月間で行っているアンケートや相談日などの取り組みに評価をいただいたものと思われます。今後、より一層、毎学期一度の相談日以外にも、いつでも相談しやすい雰囲気づくりに努め、迅速な対応に努めてまいります。
- ・18の「学校の授業に満足している」についても、90%を超える肯定的な評価をいただきました。特に「あてはまる」という評価が10%以上増えました。学習の項目で肯定的な評価をいただいていることがこの回答にもつながっているものと思われます。
- ・19の「ICT 機器を活用した授業」については、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」という評価が10%以上ありました。普段の授業の中で ICT を活用し、学習効果が上がるように努めてまいります。
- ・21の「子どもが地域の人と一緒にいる活動」については、「あてはまる」が昨年度18%増え、今年度も若干ではありますが、増えています。「7」の結果からも分かるように、地域の方々（阿波踊り、神楽坂のお店、熊谷組）との交流や活動が子どもたちにとって効果的であることが認められています。

ご家庭の様子について

- ・22の「あいさつや丁寧な言葉遣いや、お手伝いなどのしつけ」については、昨年度より「あまりあてはまらない」が増えてきています。子どものやる気を育て、規範意識や宿題等の家庭学習習慣を身に付けていくためには、家庭・地域と学校の連携が不可欠です。
- ・24の「携帯電話やインターネットに関わる適切な利用」については、「あてはまる」「だいたいあてはまる」という意見が少し増えました。携帯（スマートフォン）を持つ子どもが増加している今、家庭内でのルールの形成が不可欠となっています。子どもは自由に使いたがりますが、なかなか適切な利用ができないこともあり、フィルタリングや明確なルールで使い方を約束させないと危険です。児童だけでなく保護者会でも随時取り上げ、今後もより一層啓発していきたいと思えます。
- ・25の「ボランティアなどの教育活動への参加」については、「あてはまる」「だいたいあてはまる」が25%以上も増えました。昨年度、この項目について文言を改善してほしいというご意見をいただき、回答しやすくなったことも影響していると考えられますが、保護者の皆様が大変お忙しい中、阿波踊りや読み聞かせなどの様々な地域・PTA活動、学校行事へのご協力、ご支援等、家庭でも意識して取り組んでいただいているものと感謝しております。

自由記述について

- ・好意的な意見をたくさんいただきましたが、12や22の項目でも分かるように、言葉遣いやあいさつについての意見もいただいております。いただいたご意見を大切にして今後の教育活動にあたっていきたいと思えます。
- ・無記名にしたほうがよいというご意見もありますが、記述に対して、すぐにご説明が必要な場合があり、円滑に改善を進めるためにも、記名をお願いしています。ご理解ご協力をお願い致します。

「学校評価アンケート」の結果を昨年度の内容と照らしあわせて考察いたしました。次年度の計画にいかしてまいります。

また、アンケートの回収率が98%は保護者の皆様の高い意識の表れと感謝しています。ご協力ありがとうございました。